

国語科（現代文B）学習指導案

日 時：平成30年11月29日（木）5校時
13：25～14：15
対 象：第3学年C組 19名
学 校 名：秋田県立羽後高等学校
授 業 者：教 諭 小松 拓史
会 場：1階3年C組教室

1. 単元名 俳人や友人の俳句を分析し、鑑賞力を高め、自己の感性を豊かにする。

2. 単元目標

- ① 書き手の意図や描写されたことを的確にとらえ、表現を味わおうとしている。
- ② 書き手の意図や描写されたことを的確にとらえ、表現を味わう。
- ③ 俳句の特色や決まりを理解する。

3. 取り上げる言語活動と教材

言語活動：穴埋めで俳句を作成し、発表、審査する。
教 材：春雷【俳句】（東京書籍「新編現代文B」）

4. 具体的な評価基準

関心・意欲・態度（A）	読む能力（D）	知識・理解（E）
俳句の構成を確かめ、内容にふさわしい表現ができているかを考察しようとしている。	俳句の構成を確かめ、内容にふさわしい表現ができているかを考察している。	俳句の決まりや言葉の特徴を理解し、知識を身につけている。

5. 単元の指導計画

- ① 俳句の基礎知識・作者に関する知識（1時間）
- ② 作品の内容分析（4時間）
- ③ 俳句の作成と鑑賞（2時間・本時2／2）

6. 教材観と生徒観

教材は俳句である。これまで詩や俳句に触れる機会はあまり多くなく、評論や随想、小説を中心に扱ってきた。俳句を通して短い言葉に込められた作者の思いを読み取り、実際に作成することにより俳句で思いを伝えることの楽しさと難しさを実感してもらいたいと思っている。

授業は3年C組（男子8名、女子11名）の生徒を対象におこなう。生活文化コースとビジネスコースの生徒が混合しているクラスで、授業に対しての取り組みも一生懸命である。基礎知識が不足している生徒が多く、丁寧な指導が必要である。そのため、教科書の俳句作品を読んだ後に俳句の作成を実施したいと考えた。

7. 本時の計画

目標：俳句の決まりに注意して俳句を作成する。

時	学習活動	指導上の留意点	評価基準と評価方法
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句における決まり（字数や季語）を確認し、俳句作成のルールを理解する。 ①十七字（五・七・五）となること。 ②季語があること。 		
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ・A～Gの7つのグループ(二人一組の2グループ、三人一組の5グループ)を作り、各班で俳句を作成する。 ・俳句は穴埋めの形で四種類(①～④)用意。作成時間は8分（一種類につき2分程度）。 ★生徒の動き <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> i. 教員のくじ引きで引かれた2グループが対戦する形で、作成した①の俳句を発表する。発表後他グループの生徒を判定員とし、良い方に挙手する。 ii. 1～2名を指名し、俳句の感想を聞く。 iii. ②～④も i・ii の手順で同様 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・他に発表したい作品がないか確認し、挙手で発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視をおこない、生徒の進捗状況に応じて時間を調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・俳句の決まりを理解して適切な表現で俳句を作成、発表している。 ・俳句の決まりを理解して俳句を分析している。 (D：読む能力)
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートの記入をする。 		<ul style="list-style-type: none"> ・適切に表現できていたかどうかを考察しようとしている。